

## 子ども多文化共生センター通信(テラたま通信)

### Multicultural Children's Center News

第81号

発行元 子ども多文化共生センター (TEL 0797-35-4537)  
発行日 2021(令和3)年12月21日(火)  
ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



テラたま  
(イメージキャラクター)

2021年も早いもので残りあとわずかとなりました。今年は昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により、さまざまな活動が自粛、延期を余儀なくされました。ただ、そのような状況下でも東京オリンピック・パラリンピックが実施され、世界中からさまざまな困難を克服して集まったアスリートが精一杯繰り広げるパフォーマンスに勇気をもたらした人も多いのではないのでしょうか。緊急事態宣言が解除されコロナ禍前の日常に戻りつつありますが、まだまだ安心できない日々が続きます。一人ひとりが感染防止対策を徹底し、一刻も早くこの状況が収束し、来年こそ素晴らしい年になることを願っています。

### 『今そこにある多言語なニッポン』

(柿原武史、上村圭介、長谷川由起子 編 (株)くろしお出版)

今日、日本国内ではさまざまな言語を耳にするようになった。コロナ禍前までは多くの外国人観光客が来日し、コンビニや飲食店には外国人のスタッフも珍しくない。小学校では英語教育が導入され、自動翻訳機の登場で驚くほど簡単に外国語を翻訳することができる時代になった。ただ、そのような現実実感してはいるものの、実際にはどのような言語がどういう場面でどのように使われているのか、はっきりと理解している人はそう多くはないであろう。本書は専門的な分析ではなく、実際にさまざまなことが使われている多言語な場面を紹介することによって、日本で日常的に使われている外国語の実態をはっきりと具体的に明らかにし、いかに日本という国が、従来の、日本語だけを話している「日本」ではなく、多言語な空間である「ニッポン」であるかを実感させられる。

### ★兵庫県立高等学校「外国人生徒にかかわる特別枠選抜について」

2022(令和4)年度は、外国人生徒にかかわる特別枠選抜が次の5校の全日制高等学校で実施されます。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ・県立神戸甲北高等学校 総合学科 | ・県立芦屋高等学校 普通科(単位制) |
| ・県立伊丹北高等学校 総合学科  | ・県立加古川南高等学校 総合学科   |
| ・県立香寺高等学校 総合学科   |                    |

【募集定員】各校3名

【通学区域】県内全域

【出願手続】2月3日(木)～2月7日(月) 9:00～16:30(2月7日(月)は9:00～12:00)

【志願変更】2月8日(火)～2月9日(水)

【選抜実施】2月16日(水)

【実施内容】適性検査(国語、数学、英語)、面接

【合格発表】2月21日(月)

※不合格の場合は、3月11日(金)に実施される学力検査等を受検することができる。

☆詳細は、各実施校の募集要項をご確認ください。

## Information

### ★2021「人権教育入門講座」のお知らせ

と き 2022年1月22日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00

ところ 兵庫県立のじぎく会館(神戸市中央区)201号室

講師 外川 正明(とがわ まさあき)さん (京都教育大学・鳥取環境大学名誉教授)

映像をとおして人権の歴史を考え、人権教育及び部落問題を学び直し、正しい知識を身につけるとともに、映像制作への思いを知り、部落差別の解決のために学ぶ講座です。次代を担う先生方、地域の指導者の方々、多数ご参加ください。

### ★オンライン講座「多文化共生」を考える研修会2021

今回で21回目を数える研修会ですが、第1回の11月4日から11月14日まで計4回、多数の講師の先生方をお迎えし、『日本人』と『外国人』の境界、『外国にルーツをもつ子どもの教育』、『外国人との共生に向けての課題』、そして『移住者の困難と支える活動』という各テーマをもとに多文化共生の魅力や課題など、オンラインZoomを用いて行われました。各回、約60名の参加者があり、「外国人」を作り出した歴史的な経緯がわかった、「日本人とは誰かを考えるきっかけとなった」、「難民を生み出す背景を知ることができた」等、参加した方々にとって実り多い研修会になったようです。

### ★ひょうご・ヒューマンフェスティバル2021 in にしわか



8月7日(土)に西脇市の市民交流施設オリナスで子ども多文化共生にかかわるイベントが行われました。フォーラムでは「外国人児童生徒の自己実現の支援～多文化共生社会の実現に向けた取組～」というテーマで外国人生徒、子ども多文化共生サポーター、地域の支援者等が、それぞれの立場で、多文化共生社会の実現にむけた取組課題等を発表し、活発に意見を交換しました。また、当センターからは民族衣装、教科書・資料、楽器などの展示を行いました。たくさんの人たちが興味深く展示品に見入っていました。

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2

TEL: 0797-35-4537 FAX: 0797-35-4538 E-mail: mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。

民族衣装や世界の楽器などをお持ちでしたら、センターに寄付をお願いします。